

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
石川県地域ワークショップ 報告書

日時	2020（令和2）年2月12日（水）10：40－12：15
会場	石川県地場産業振興センター本館大ホール
参加者	355名 （小学校 197名、中学校 84名、高等学校 47名、特別支援学校 12名、市町村教育委員会 14名、日本体育大学1名）
プログラム	<p>10：40 開会 石川県教育委員会事務局保健体育課 課長 村戸徹</p> <p>10：50 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に関する報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 志賀町立志賀小学校 教諭 島田智宏 ・中学校 内灘町立内灘中学校 教諭 菅谷吉磨 ・高等学校 県立鶴来高等学校 教諭 糀高晴 ・特別支援学校 県立小松特別支援学校 教諭 田中日呂美 ・石川県事業報告 石川県教育委員会事務局保健体育課 指導主事 木村哲也 <p>12：00 質疑応答 12：15 閉会</p>
内容	<p>開会にあたり、一層の子どもたちの体力増進と「する」「みる」「支える」様々なスポーツとの関わり方についてオリンピック・パラリンピックを活かして取り組んでいただきたいと挨拶があった。</p> <p>続いて、推進校4校による実践報告および県教育委員会事務局より事業報告がなされた。推進校より、体力増進に向け、休み時間でも可能な取組みや保健体育の授業で行われたパラスポーツの実践、地域の自然と環境を活用した取組み、地域で盛んなカヌーを通じたホストタウン交流の実践の報告があった。県教育委員会事務局からは、スポーツ選手ふれあい事業の様子と県内の事業を総括した成果と課題が報告された。次年度もオリンピック・パラリンピックおよび運動・スポーツに対する児童生徒の意識が一層高まる取り組みを期待するとともに、オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて引き続き協力を促し、会を終えた。</p>



会場の様子



実践報告の様子